常磐毎日新聞

日刊

三月四日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料　普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣　平、長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二二〇番

天氣豫報

今晩は北の風曇
時々晴
明日も北の風曇
時々晴

指名手配中の强か者
格闘の末捕ふ
殊勳！平署に凱歌擧がる
平に流れ込んだが運の盡き

三日夜九時半頃平驛前を徘徊中の四十才位の土工風の男を平署員が誰何すると逸早く逃走を企てたたので追跡市内六丁目地内で大格闘の末逮捕本署に連行取調べると

右は山形縣北村山郡楯岡村生れ前科六犯森谷宙次郎（三八）と云ひ同人は去る一月二十七日千葉刑務所を三年の刑を了へて出所、その足で東京に居る叔母の處に行き再び惡心をおこして豐島區西巣鴨町附近で洋服其他百餘圓を窃取、贓品は全部叔母の處に隱匿してゐたのを西巣鴨署員が探知、去る二月二十日夜叔母宅の二階に就寢中を踏み込んだがこゝでも西巣鴨署員と大格闘二階から巧みに飛下り逃走したので西巣鴨署では全國に指名手配中のものであつた、同人は逃走後直ちに本籍地に立戻つたが警官の目がうるさへところからまた／＼逃走本郡下で一働きせんとして三日夕刻平驛に下車したのが運の盡きで目下嚴重追究中であるが前科六犯の强か者だけに取調べの進展につれて被害は相當の額に上るものとみられてゐる

同僚の通帳を盜み
廿七圓餘を横領
磐炭坑夫平署へ檢擧

内郷村磐炭坑夫宮城縣登米郡豐里村大字赤生津生れ前科一犯小野山善太郎（三〇）は三日朝同僚の野村寅次郎（二五）名儀の郵便貯金二十八圓記入通帳及び印鑑を窃取、綴局から二十七圓五十錢を拂戻した事發覺、四日平署に檢擧された

今ぞ我等が戰線へ
出征歎願書
本郡下から二名提出

かくありてこそ皇國の礎は固し――今次事變勃發以來在郷軍人は應召されるのを今か今かと待ち構へてゐたが不幸にも出征の光榮に浴せず切齒扼腕してゐたが這般發表を見た派遣將兵一部整理交替の報を知つた在郷軍人は此の度こそ我等の活躍する時と連日福島聯隊區司令部に出征歎願書が舞込み、山積して係官を感激させてゐるが今四日湯本町三函上等兵關根嘉數衛山田村大澤補充兵新妻十郎の兩君も出征歎願書を提出、從軍の許可されるのを待つてゐる

あと幾日を要す
鳳城炭礦の排水
憂愁に閉さる遺族

鳳城炭礦は出水禍以來四日を經て坑内の排水作業は二日夜から漸次減水し始め現在約百二十尺の減少を見たが磐炭から到着した六十馬力の排水ポンプは鐵管不足で付けられず、今なほ坑底までは一千六百尺あり前途なほ遼遠で死體は泥土に埋れて居るものと見られ作業は當然長引くので縣保安課本田警部補、仙臺鑛山監督局員、地元消防組も既に引上げ春雨のけぶる坑口には十數名の作業員と植田署員が立働いてゐる許りで死體を呑んだ濁水を見つめて立去りかねてゐる家族の様には一際寂寥が漂つてゐる

四倉町の豫算
十一萬六千圓

四倉町の豫算は經常部六萬一千九百十六圓、臨時部五萬三千九百六十三円であるが戸數割は一戸平均二十二圓四錢で臨時部の主なるものは火葬場建設費三千四百四十二圓、四倉漁港第二期工事地元負擔金三萬七千五百圓等である

職業指導
第二回委員會

平市及び郡下各小學校に於ける卒業兒童に關する職業指導第二回委員會は今四日午前十時から平第一校會議室に開かれた

怪しい買物

平市研町古物商大方慶藏（六六）は去月中前後二回に亘り住所氏名不詳のものから自動車附屬品二十五點を買受けながら屆け出せず昨三日平區から古物商取締法違反で略式罰金十圓に處された

小兒の命取り…
百日セキ痲シンが流行
平署では豫防に大童

新春初頭から病魔に襲はれた平地方は漸くチフスの發生も終熄した型となつたが春に向つて今度は感冒が流行、殊に好間村古館方部は惡性の痲疹が猖獗し急性肺炎で死亡する小兒が數多く一日一、二名宛あり、更に豐間村高久村方面の濱近くには百日咳が流行、小兒へ惡魔の手を延べて母親達を脅威に戰かせてゐるので小兒の衛生保健上放置して置けないので平署では關係各町村小學校と協力豫防に乘出し一方各家庭に對しても豫防方を促した

組合村の學務委員

三阪、澤渡組合村の學務委員は此程左の如く改選

田子雄之助、松崎寅治郎、永久保德治、大竹克產、永山長重、水野乘吉、若松龜吉、藥谷長吉、阿部忠男、大竹義隆、小平慶治

罰金五十圓
業務上過失致死で

トラックを運轉中、不覺にも同乘者を振り落し死に至らしめた平市北目町東北化學工業運轉手市内中平窪字古館新妻光司（二三）は今四日〃業務上過失致死〃に問はれ平區から略式罰金五十圓に處された

小名濱支局通信

竹村僧正を尋ねて
…（下）…

KN生

茶室で待つ事半時間對局中の圍碁を片付けて初對面の挨拶を交はしてポツ／＼話す所を聞くと大體つぎの樣な意味に聞かれる。小名濱町に來て約三年間の歲月が流れた、この間能く往來するのは檀家の諸君と遍照講の婦人連で、餘り有志の方々には會合の機會がない。現在の躍進を辿る小名濱町の有志家としては多忙を極めて寸暇もないことで有閒僧侶を相手にする餘裕がないのであらう讀經や讀書に倦怠を來した時などは有志家の潑剌たる話しを聞き度い氣持もする。然し訪ね來る人とてなければ圍碁などが退屈を凌ぐには尤もよい、碁相手なればザラにある偶には庭園の盆栽々培もやるが樂しみなもので殊に春先きの芽生への元氣を見た時は老體の拙僧も何となく躍動して來る葬儀が檀家以外には御免を蒙る事にして居る、これ等は又當然扱はねばならむ人々に任せて置く方が無難だから、と云ふのであつた。

◇　◇

僧正の談話は簡にして要を得て居る、有志家の對談は常に希望して居られる樣だが訪れ行くもののないのに手持不沙汰の形である、この方面の有志家があれば圍碁も樂しまず盆栽もいぢらずして飽まで有意識に談話を交すことは能く言外に溢れて居る、嘗て自性院に落ちついた當時自性院の新築に際して資金の募集があつた、その時の僧正の精勤振りに檀家惣代をして感服せしめたこととさへある。此筆で進む時は僧正の精力こそ底知れぬ何物かを感ぜしめねば止まぬ

◇

時は正に非常時局下に於ける覺悟を持つべき時である、階級の何たるを問はず精神作興に努力せねばならぬ時機である。僧正の如き人格の高い人々を出廬せしめて以て其要路に立たしめたなれば現に絶叫する國民精神總動員の趣旨に叶つた方法の一つでないかと考へ再會を約して辭去したのであつた。

放火犯木田
控訴審でも七年（求刑）
判決公判は十五日

二千圓の保險金欲さに昨年十一月二十六日自宅押入れに放火居宅及び隣家の佐藤善助氏方を全燒せしめた平市四丁目靴製造販賣業木田惣吉（二六）に係る〃放火〃事件の控訴公判は三日宮城控訴院で勅使河原裁判長係り松藤檢事立會の下に開廷されたが原審通り懲役七年を求刑された判決言渡しは來る十五日

平警察署には
二、三名增員
ガソリン節約に伴ひ

ガソリン節約のため購買券制度は近日中に發令を見る輸出入臨時措置法に基き五日出後から實施されることになつたがこれに伴つて本縣では巡査二十七名の增員をなすことになり內四名は縣保安課に增員され殘る二十三名は縣下各署に配置されこのガソリン警察官の手で自動車漁船その他重油、揮發油を消費するものは一名殘らず完全に切符制度が行はれるもので管内に多數の漁港を有しまた大小十數の炭礦を有する平署は必然的に事務が忙殺されて來るのでこのガソリン警察官の配置も二名乃至三名が增配されるものと見られてゐる

入山炭坑の〃地熱〃
獻金三千五百圓
代表が上京陸軍省へ

湯本町入山炭坑では昨年十二月以來全山從業員が毎月五十錢宛を醵出銃後の赤誠を獻げることを申合せ全坑一齊に實行してゐたがこの程三千五百餘圓圓に纏まつたので松繁自治會長以下各坑代表坑夫十餘名が連署した獻金名簿にこの義金を添へ近日上京陸軍省恤兵部に獻金することゝなつた

日本語化される
支那の子供たち
殘飯貰ひに幾百と群ふ

中支派遣軍　大竹庫君通信

相變らず上海の高樓を眺めつゝ警備の任を續けて居ります他事乍ら御休心下さい。

黄浦江に展開される異國風景は平和回復に比例して多くなり異郷に在る自分等の心を慰めてくれます。

上海は確かに國際都市です世界のありとあらゆるものが集まり共同租界佛租界等全く目を驚かす物象のみです、大變見聞を廣めこれも今次事變の齎らせる大なる收獲と喜んで居ります。

駐屯地浦東は完全に治安が成りまして上海當地に比すれば幾百倍といふ土民の數です、何處に逃避してゐたのかと疑問さい起る位です。

此處は非常に男が多い樣です何れも窮民で妻帶が出來ない爲なさうです

又子供も大勢です全く程よく子供が居ります、しかし學校がないので皆遊んでゐます。食ふに困つてゐるのでボロ／＼の着物を纏い内地の乞食と同樣です。

其の子供の生活は朝二時暗いうちから手ザルを持つて兵舍の垣外に集まり殘飯を貰つて其の日の食物としてゐます。

職業がなくルンペンの親が多い結果で誠に哀れです、殘飯貰への子供の數には一寸驚きます幾百となく群をなして集まつて來て命がけで奪へ合ひます。

阿鼻叫喚が朝晝晩と食事毎に展開されます。

はじめはアニホレシメシシンヂョと支那語でしたが最近ではヘイタアーサン、メシチヨダイ、アリガタウ、と大部日本語が出來る樣になりました、これをからかつてゐると小半日位過ぎるのは忽ちです。

大人も隨分交つてゐます實に慘めな風景です敗戰國の悲哀が切實に感ぜられます泌々見て色々考へると涙さへ催します戰後の一風景として見逃す事の出來ぬもの內地の兒童達には誠に必要な教育資料と思はれます。

存分に書き盡せぬのを遺憾に存じます全く想像の外のセンチな光景です

アニホレシメシシンヂヨとて　群れ集ふ
土民の子等の今日も增しけり

これは自分が歌に表現したもの窺ふ事が出來ますれば幸甚の至りです。

（後略）

平第三校學藝會
母への感激と
軍人の遺家族招待

平第三校では既報の如く明五日午前八時から同校講堂で六日の地久節に因み母への感謝學藝會を催すが當日は特別席を設けて市內出身軍人遺家族を招待する

宣傳ビラ
産組記念日に

平庶民金庫で

平庶民金庫は六日の産業組合記念日に勤儉貯蓄普及のため全市にわたり報國貯金の勸誘と貯金加入の宣傳ビラ撒布を行ふ

忠魂碑を參拜後
各方面に强行軍
陸軍記念日の各小學校

市內各小學校は事變下の陸軍記念日三月十日の行事に就いて目下準備を進めてゐるが

各校共忠魂碑參拜後夫々各方面に强行軍を行ふ筈

窃盜、電信違反で
電線泥起訴
近く平區廷の公判へ

遞信電話線を數回に亘つて二千數百米を切斷窃取した犯人內郷村大字白水字白畑居住、安積郡片平村生れ元炭礦坑夫岡部智議（二七）に係る窃盜並に電信法違反被告事件は平檢事局で審理中のところ今四日起訴近く平區廷の公判に附される

獻金を寄託

江名町下神白及川いせ（八八）婆さんはこの程町役場へ國防獻金として十圓を寄託した

小名濱支局開設

今般小名濱町字橋本（電話四十八番）に本社支局を開設小野務平君支局長として就任仕り候間何卒御聲援願上度此段謹告候也

昭和十三年三月

常磐毎日新聞社

支局開設に就て

支局長　小野務平

將來の我小名濱町は決して今日の小名濱町ではない、重要港灣の完成と共に平市と提携天下に名を博する時機も決して遠い將來ではあるまいこの機運に一歩先んじて常磐毎日新聞の小名濱支局を開設する事はこれ又徒爾でない事を强調する一人である。今後は同社の主張に基き只管公正無私、不偏不黨堂々たる論陣の許に是々非々主義に邁進する覺悟である、本町の將來に鑑み聊か期する處がある故に敢て願ふらくは有志家各位の指導鞭撻の勞を吝むなからむ事を支局開設の初めに際し挨拶に代ふと爾云。

平市人事

回死亡

△久保町四三熊次郎孫古田部富美子（二）さん
△十五丁目三〇英雄弟妻久保田チイ（三五）さん
△田町五八清音六女鈴木慶子（一）さん

回出生

△上平窪字上岡一九（相馬郡鹿島町字鹿島町六九寄留）大平壽男氏三女金子さん

回婚姻

△鎌田町三五入江イナさん（二六）と東京市荒川區三河島町四ノ三二二九酒井勇君（二四）

JOHK

今晩の部

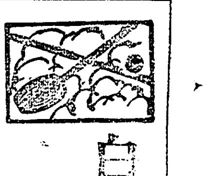
▼後六、〇〇　お話「空氣の話」安積宏
▼後六、二五　講演「貿易管理の國民生活への影響」經博服部文四郎
▼後八、〇〇　室內樂「奏鳴曲」岡村雅雄外
▼後八、三〇　物語「イタリアの歌」村瀨幸子
▼後九、〇〇　時事解說「支那最近の政治工作」坂西利八郎中將

明日の部

▼後〇、〇五　土曜コンサート東京放送管絃樂團
▼後六、〇〇　（子供の時間）ウヂオオアソビ「おひなさまの前で」オアソビ・クラブ
▼後七、四〇　講演「動亂のスペインより歸りて」國澤慶一
▼後八、〇〇　新內「道中膝栗毛」富士松長門太夫
▼後八、三〇　琵琶「實盛」高倉旭仔
▼後九、〇〇　和洋合奏「春の囁き」江東管絃樂團

吉田眼科醫院
平紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

國旗と提灯
平四　スガノヤ　電九五



白刃劍風道

（禁上映上演[illegible]）

大島多殷夫作
井川洗厓畫
（商）布施長春畫
（東商）村瀨春映畫

……三、二……

紀州脫走（四）

『一體いつ頃江戸へ押寄せるのだらう、家の旦那などは明日にも出陣するやうに仰有つて居つたぜ』

『でもお前、五人や十人で押寄せるんぢやないぜ、何萬人といふ兵隊で攻め寄せるんだらう』

『うまく問屋ぢや卸さんぜ』

五左衛門の耳に此の話が入つたので、避ふやうにしてついて行つた。二人の仲間はそれを少しも氣づかなかつた。

千鳥足でフラ／＼と歩いてゐたが、また年老つた方が口を開いた

『だがよ、今日江戸から着いた客つてのは云つてゐたさうだ。いづれ紀州樣が總大將になつて江戸へ押寄せるのは近いうちだらうつてなあ！』

『お前とこの旦那は始終江戸から來る客と會つて居るやうだが、今日はどんな客が來たんだ』

『何でも軍學者とかの御使者だとか云つて居つたぜ』

『はゝあ、どうせ江戸にも大勢お味方をしやうといふのが隱れて居るんだらう』

『その軍學者つてのが江戸の總大將らしいな』

五左衛門は忽然と由井の使者が來たことを知つた。そして、息をこらして此の仲間の後をつけて行つたが、大手門の方へ曲らうとする屋敷街の角にある廣大な邸宅の小門をくゞつたのを認めたのであつた。

『何人の屋敷だらう』

と、五左衛門は注意深く忍び足で寄つて行つた。そして、漸くそれが矢ッ張城代家老である[illegible]の屋敷であることを知つた。

と、同時に、[illegible]であることを確信された。五左衛門は門前に佇んでうつかり考へてゐた。

すると、門側の武者窓が[illegible]にガラリと開いた。五左衛門はハッとして[illegible]になつた。が、月は[illegible]のやうに明るく輝いてゐるので、人間の姿か犬の姿かを判然と認めさせた。

『誰ぢや！　そこに居るのは？』

と、先づ太い聲のある[illegible]で御[illegible]へ者の浪人らしいのが怒鳴つた。

また内部の方に、矢ッ張り浪人らしい武張つた男の聲が聞えて、何やらヒソ／＼と囁いてゐる容子が、直に五左衛門に感ぜられた。

二人や三人の浪人侍相手に躍ふことは、何とも思つてゐないが、それが爲めに重大な使命を誤す事が出來ない破目に陷るといけないので、五左衛門は四五間はかり、犬のやうに這つたが、起き上ると脱兎の如く走り出した。

『逃げた、追ッかけろ』

と、叫ぶ聲が後の方に聞えた。

そして、入亂れた跫音がひどく聞えて來る。塀と往來の間には三尺くらゐの深さの狹いあき溝が設けてあつた。五左衛門はどんな奴が追ッかけて來るか、行過ごさしてから方向を變へて逃げてやらうと即座に考へた。そして、あき溝へ飛び込んで首ばかり少し出してじつと見てゐた。

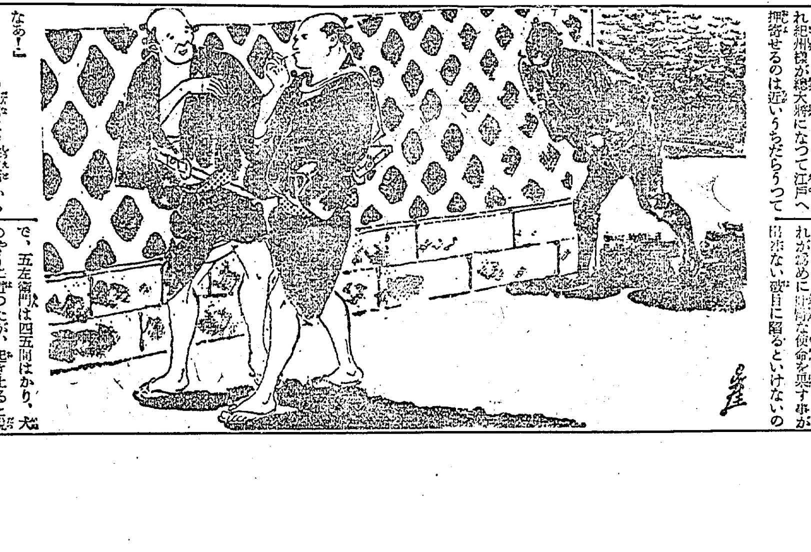
拔刀のまゝで、筋骨の逞しい野武士然としたのが、息切つて追ッかけて來た。

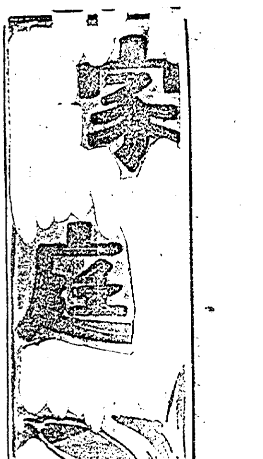
『最う見えない實に早い奴ぢや』

と、一人がぜら／＼した聲で云つた。その言葉には九州訛りが交つてゐた。

『江戸から參つた鼠ぢや』

と、また一人が云つた。北國浪人らしい訛である。





新しい母性の教養

高良富子

女學校の卒業期を前にして、よく私は若い姉妹方から御相談を受ける。若い人はどうか一人前になるまで勉強したいといふ、周圍の人々はそんなに勉強などしてゐると婚期がおくれるといつて心配する。その結果こゝで三ヶ月、あそこで半年、あれやこれやとまとまらぬ稽古事や小遣取りをしてゐる間にやつぱり三年や五年は經つてしまふ。こんな事なら何か勉強しておいたらといひ出してももうおそい、結局女學校だけでは子供の中學の數學の指導も出來ず相談相手となれない母親になつてしまふ。

日本民族の前途を思ふ時に早婚はのぞましいが、その前に女性の心身の十分な發達がもつとのぞましい、發育不十分なそして育兒知識と生活能力の微弱な母親が澤山出來る事は、人間と出産兒との浪費である。そして國民體位は益々低下して行くだらう、それを喰ひ止め、まづ女性の正常な心身の發達と健康な生活力を確保する事が第一だと思ふ。

が、それは若いお孃さん達お好きでない、さうした大きい筋肉を使ふ生活からは、もう生れた日から絶縁されてゐて、指先でひねつた花飾を作つたり、目に美しく味覺に甘いお料理や、洋裁、語學等好きな方はまだ上乘である、大陸開發、南方進出などの民族的生活路とこの若き女性の教養との間にどういふ關係がむすばれるかと時考へる。

娘の將來をすこし考へる親達は婚期と職業とを兩天秤にかけて短期で資格のつく學校をえらぶ、萬一の時には學校の先生にと用意周到である。そのうちの大部分は教員免状は空手形にして結婚生活にをさまつてしまふ。納まる場所がこれからは北滿だ、南洋だ、内蒙だ、印度だといふ事にならう。

すれば、華や茶を習ふなら教へ得るまで徹底し、料理をして裁縫をするなら蒙古へ行つても、ジャヴァへ行つても役立つやうに習ふべしといひたい。いづれ廿二、三歳の結婚は無理と決れば、思ひ切つて一藝に徹するやう教育すべし。誰か日本の母性の教養を今日のまゝに放置して、東洋の指導者たり得ると思ふ者があらう。

―家庭メモ―

◇着物の襟の白粉

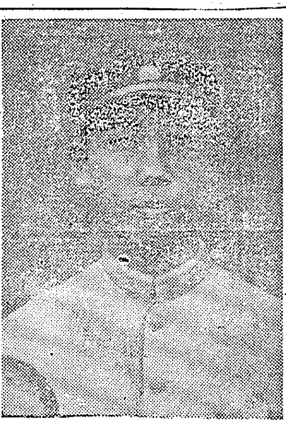
着物の襟などにおしろいがついて醜い時には、テレビン油を布片か眞綿にしめして、何度も輕くこすれば落ちます、おしろいがついてもすぐならアルコールでも揮發油でもとれます

子供を持つ郷里の御兩親へ

國家總動員下の帝都で突風的に行はれた警視廳の不良學生狩は三日間にわたり約四千名の大檢擧を見ました、生々しい檢擧取調べの内容は一大猛省の警鐘を亂打してゐます、世の甘い母に郷里にある兩親に、あるひは學生を宿泊させてゐる下宿屋の主婦にこの檢擧は何を警告してゐるか、直接その衝にあたつてゐる田多羅捜査第一課長並に三原係長の話をお傳へしませう―

父親へ内密の送金と學生のアパート住ひ

墮落へ追ひ込む第一歩です



國民の緊張が緊張の極に達してゐる時からした不心得者が帝都の眞ん中にうよ〱してゐることは全く遺憾です、今回の檢擧は指導矯正が主な目的であつたので出來るだけ寛大な處置をとりました、學校當局にもなるべく知らせぬやうにし、注意人物は父兄保證人の受證をとつて引渡すに止めましたが

この次 また網に引つかゝるやうなことがあれば斷乎學校當局に通知するより外はないとおもひます、取調べの結果痛切に感じたことは「親の甘さ」です、父親が月々に相當の學費を仕送りしてゐるのに、母親がほとんどそれと同額位の金を内密で送金してゐる者も相當あつたこと、病氣だとか、何だとか勝手な理窟をつけて國許へSOSを出すと深く調べもせず、早速送金する、子供はその金でカフェーに通ひ麻雀、撞球にふけり、女給と同棲してゐる有樣である

（一）母親の内密送金絶對不可

（二）學生のアパート住ひ不可

喫茶やカフェーの女給を引つ張り込む、こんな

女給に 限つてろくな者はゐない、アパート住ひは墮落の第一歩だ、廣い東京には親戚、知人がゐないわけがない、監督者のゐる所へ、必ず預けるやうにしたい、次は膝下に置いてゐる父兄保證人はどうしたらよいか

（一）小遣ひを持たせすぎぬ事

（二）攜帶品を時々調べる事

（三）學校ともつと密接な聯絡を取る事

不良にいはせると「たかられ組」といふのがちやんと出來てゐるさうだ、帽子を横にかぶつたりボタンをはづして街を歩いてゐる者は必ずたかり甲斐があるといふ、たかられた者はやがてたかりかへす、檢擧した不良のうち中等學校上級生以上の者で懐中に質札をもつてゐない者はほとんどなかつた、保護者はつねに所持品に注意しなくてはいけない、攜帶品中にメリケンサックとかチエーンとかツベに針金をまいてゐるとか學業に全く無關係の兇器を發見する上にも

大切な ことである、檢擧した不良學生は大抵帽子を二つもつてゐる、遊ぶ時にかぶり替へるためだ、十五歳の小學生が大學生の服をつけてカフェー遊びをしてゐたものさへゐた、兄が惡事をするため妹をだしに連れだして遊蕩にふけつてゐた者、二十五歳でまだ豫科一年に在籍、親の脛をかじつて學校には出ず特殊喫茶に入りびたつてゐたり、日大生殺しの賀におとらぬ不心得者が相當居たが、專門學校に行つてゐるのだからと兩親や保護者が監督を怠つてゐた事が大きな原因となつてゐる

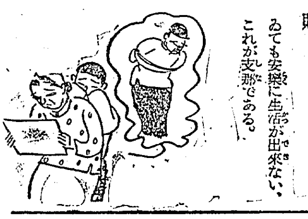
家の娘に限つて不思議に不良

罪は虚榮の親馬鹿に

檢擧者中には女學生も相當ゐる、どうして不良になつたかを調べて見ると大抵は親の虚榮心から本人の好まぬ學校にやられた、學科がいやでサボり始めたが、不良群への一歩となつてゐる、注意してほしいのは夜「稽古に行く」と親をだまして外出しその足で盛り場に遊んでゐた者がゐた事、おそくなつたから友達の家に泊つて來たといつて男の家に泊り、ごまかしてゐた者等がある事です、こんな不孝者を持つ親がまた揃つて引取りに來た際「家の娘にかぎつて」といひわけする事で全く親馬鹿といふより外はない

日支アリヤコリヤ物語

馬賊



支那には馬賊といふ困つたやつ等がゐる

金持と見ればそこの主人を人質として拉し去り期日と場所を決めて、金幾萬圓をもつて來たら主人と交換するといふ文面をその家に送つて、もし期日までに金がとゞかない場合は、主人を虐殺してしまふのである、こんなヤバンなやつが多いから、一寸の小金をもつてゐても安樂に生活が出來ない、これが支那である。

科學者が主婦への要求

新時代の家庭にとつて科學的知識の必要な事はいふまでもありません、非常時における家庭の改善、改良もこの知識をいかに應用するかにあるとおもひますが、この問題について實際に科學の仕事にたづさはつてゐられる方々に種々御意見をうかゞつて見ました

×

専賣局中央研究所
家庭安全協會理事

長濱庫吉

（一）「イ」家庭の改善、改良は主婦が本氣になつて自發的に敢行しなければならぬ、しかして夫婦協力はつきり非常時を認識すること

「ロ」科學方面の知識の促進は、まづ新聞の家庭欄やラヂオなどによつて徹底せしめてほしい

（二）「イ」完全そしやくを勵行する事、さすれば食糧少くとも消化、榮養よく、胃腸障害もなくなり健康増進す、あまり體をうごかさぬ精神勞働者など中食抜きの二食主義をやつて見ては如何

「ロ」お天氣のよい日は必ず夜具蒲團を日光にさらすこと、無料で自然界の大恩惠を得られる、無形の衛生知識

「ハ」一日すくなくとも一度は便通あるやう習慣つける事

×

東京工業大學教授理學博士

竹内時男

（一）節約、代用を餘儀なくされてはじめて科學の有難さが解る、合理化といふことがまだ〱足りぬ

（二）ラヂオの家庭科學放送、女學校の科學時間を増し徹底させる事、新聞家庭欄の充實等をのぞむ、

ほくろ十態

女でこめがみにほくろのある人は少々低能ださうですが、その割合に幸福に暮せます、そして長命でもありますから、美人に生れた人は羨まれてよろしい、かういふ人は良人にあまり干渉せぬこと、かへつて揚足を取られるより知らん顏でゐる事、それに良人以外の男性を友達に持つたりせぬこと、以上。

制服のヨタ者

油斷するな僞學生

制服のヨタ者……このニセ學生には鼻持ちならぬ惡らつな者がゐた學生だといへば無條件で信頼してしまふ家庭があるが、これは大禁物である、大ほらを吹いて同居した場合娘と關係をつけ、甚だしいのは母娘と關係し果ては恐喝をする、それに引つかゝつて泣いて居る後家さんや下宿の主婦が相當居る、どんなうまい口をならべても机もノートも持たぬ學生は絶對信用出來ぬ、果して勉強して居るかどうかよく素行を見た上でなくては學生だからとて心をゆるすべきでない、ニセ學生程きちんとした制服を着て口上手なものである事も心得ておかなくてはいけない

長壽法十則

フインランドのヘルシンキの醫學研究所では長壽法を色々と研究してゐたが、この程左の十則を發表し長生きしたい人々に大きな示唆をあたへた

一、住所は必ず郊外に定めること、田舎ならばなほよし

二、出來るだけ熟睡する事

三、朝起と冷水摩擦を缺かさないこと、決して湯を用ひない事

四、さだまつた時間に食をとること、間食は絶對にやらぬ事

五、寢室は空氣の流通をよくしておく事

六、室内、室外を問はず氣温の激變を避ける事

七、出來るだけ運動をすること夕方の散歩でも効果あり

八、あくどき香水、甲高き音樂強き光線は避ける事

九、一年中には二三週間は必ず田舎の自然に接すること、大家族連れであつまる海水浴場は避ける事

十、着物は常に清潔にする事

―ヘルシンキ特信―

小魚を骨まで柔く煮るには

ハゼ、キス、フナ、ワカサギなどの小魚を骨ごとたべられるやうにやはらかにするには次のやうになさい

○　○

（第一法）活きのいゝ内にさつと焼いて二杯酢の中につけ込み一日おけば相當骨もやはらかになります、なほこのまゝ目ばりをしておくと長く保ちます

○　○

（第二法）甘からに煮るにはお茶を應用するのが秘訣です、お茶を苦いくらゐに濃く出し、なまのまゝまたはちよつと白焼きにした小魚を浸してとろ火で煮つめ、お茶がなくなつたらもう一度入れて煮つめます、やはらかになつたら味つけします、この方法なら味もよく、形もくづれません、

軍國海軍小說

愛慾非常線

寺崎洋々洲作
松村秀彦畫

（禁無斷上映及上演）

……一三〇……

失敗（六）

『夫れでは船が斯う進行して居るが一體何處を航海して居るのだ』

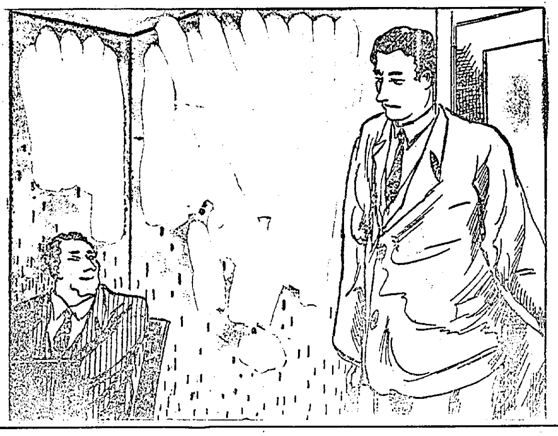
『鹿島灘へ歸航して居るのです、何んでも餘程沖の方へ出たやうですから』

『さうかだが火夫でも賊の仲間だから放任して置いては不可んぜ』

『大丈夫です、此方の者が二人監視して居るのですから』

『ヘ、ア夫れは旨い事を遣つた夫れから山田の奴はどうした』

『夫れですか僞に變裝です、山田は他の賊二名を連れ水上署のランチを奪つて何處へか逃走してしまつたのです』



『何に山田にランチを盗まれてしまつた、夫れは厄介な事が出來たなア』

と二刑事は山田の機敏なる動作に舌を卷いて居る時船は再び港内に入つたので聲を限りに船長を呼んで上陸を頼まうとしたがその時山田に奪はれた汽艇隼丸は此方に向つて驀進して來た。

此方へ向つて來る水上署のランチ隼丸を眺めた堀田刑事は

『おうランチが來た……』

絶叫すると共に甲板から大聲を發して呼び迎へたが隼丸は波を切つて寄せ附けると共にヒラリと乘り移つた水上署長は甲板の有樣を眺めて。

『どうしたのだ此の有樣は』

『はい……』

と、是より有りし次第を物語ると、署長はニッコリ笑つて。

『夫れは御苦勞〱實はお前達が出張すると間も無く東京の町署から横濱で拘引した楢田と云ふ奴が全部自白した處に依ると、松浦部長は海賊の張本らしいから當署より新納と云ふ部長を出張して居るが何分の應援を頼むと言つて來たが、其の時には此方でもモー手當をしてあるから、唯承知したと云つて遣つたが今から三十分ばかり前に水上署の隼丸が本牧の海岸に漂着して居ると届けたものが有つたので應援と思つて行つて見ると事實である今は猶豫されんと本廳まで出動した譯さ』

堀田刑事は幾度か頭を下げ

『何共恐縮です、然し、西條は死しても部下の奴はまだ生きて居りますから大體の調査は出來ます』

『さうか兎に角御苦勞であつたお前がそんな目に逢つたとは少しも知らなかつたが、さうして山田と云ふ奴は今の復命に依つて見るとまださう遠くまで逃げては居らんな』

『左樣で御座います、私も左樣考へて居ります』

水上署長は新納部長に向つて

『君も御苦勞だつたねえ、兎に角負傷して居る者は早く手當をせんければ不可んから……』

と、直に上陸して負傷者一同は横濱病院へ入院させたが、新納部長の方は幸ひに其の部下の二三名であつたので是れを水上署に託して一先づ無事なりし部下と共に終列車にて歸京し、直に出署すると署に殘つて居るのは宿直の警部ばかりであつたが新納部長の姿を見るや

『ヤア、御苦勞だつたなア新納君』

と、何となく冷やかな態度で

『どう致しました楢田は、どう致しました』

昭和十三年度
入學生募集人員
本科（修業年限二ヶ年）五〇名
技藝科（修業年限一ヶ年）五〇名
專攻科（修業年限一ヶ年）二〇名
各科二年　補欠入學生　若干名

課外教授
本校生徒ハ希望ニ依リ左記科目ノ習得ガ出來マス
タイプライター　將來職業婦人タラントスルモノ
琴、生花　家庭婦人トシテノ準備
ピアノ　音樂研究を志スモノ
洋裁　洋服裁縫ヲ研究セントスルモノ
『タイプライター』修得者ハ本校ニ於テ就職ヲ斡旋致シマス

平市才槌小路二十番地
文部大臣認可　平陽女學校
電話四四五番
振替口座仙臺五六八二番

絶對無臭の毎日炭
專賣特許ノ毎日炭ハ酸化炭素ヲ含マズ本邦唯一ノ衛生經濟燃料デ
▼經濟價値木炭ノ優ニ三倍
▼火付ヨク木炭ト同樣
▼火力強ク火持長ク徳用
▼飛火立消ナク水消後再度使用
等ニ特長ガアリマス是非御試用下サイ
製造元　清水産業株式會社
ミツウロコ　木炭　練炭　豆炭
販賣　平市一丁目　市原商店　電話二四四番
◎十俵以上御註文ノ場合ハ特ニ勉強致シマス

家傳　安流丸
梅毒、瘡毒、胎毒、橫痃、吹出物、腫物、痔疾
便秘、動脈硬化症、高血壓
中風、神經痛等に特効あり
本劑は一日一回服用の珍らしい家傳薬で芯から毒氣が抜れます
定價　壹円、弐円、参円、五円、拾円
平市田町　阿部藥舗

大捷春の！
獨特のコーヒーとWINE
紳士の喫茶店
グリルバツカス
サービス一割（外拜辭）
平市銀座通　TIL702
女店員募集
面白く眞面目に安心して働ける給料制度です
委細は本人面談

▼……事業擴張の爲め
職員採用
一、男女年齢問はず奮闘の士を望む
一、固定給の外に歩合あり
一、希望者は御來談又は履歷書御送附あれ面會日通知す
野村生命保險株式會社
平出張所
平市鷹匠町一番地

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

上原家政婦會
平市紺屋町一二
會主産婆　上原通子
電話一二二番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

（夜間診療）
胃腸性病
内科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
專門
胃腸性病　松村醫院
平市南町（電話一〇七番）

冬物は
是非！
當店から
（在庫富豊）

玉屋洋品店
平　田町通　電話六五六番

銀なべ　牛鳥
豚汁
串カツ
珍味御試食願上ます
チンヤ式食堂　靜かな食堂　一の井
平市三田小路
（電一七六番）

美味！芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

三井タクシー
平二　電話　六八五番

銃後の皆樣喜んで御使用になる
糸イラズ
綿布、綿糸、毛絲の折柄古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジヤケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては國家の經濟は莫大のものとなりませう
男子の方や御子樣方でも容易に修繕が出來ます
糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい
定價　20錢　30錢
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

◎此程……開店致しました
何卒御贔屓に願ひます
御料理　一良久
平市田町（元照よし跡）
電話三九九番

内科　外科　一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町　電話三五八番